

第496回 IBC番組審議会

1. 開催日時 平成17年2月24日(木) 午前11時~
2. 開催場所 IBC放送会館 大会議室
3. 委員の出席
- | | |
|---------|---|
| 委員 総数 | 14名 |
| 出席委員数 | 11名 |
| 出席委員の氏名 | |
| 委員長 | 石川 桂司 |
| 副委員長 | 藤原 正紀 |
| 委員 | 阿部 价男 熊谷志衣子 小苺米葉子
坂田 裕一 中原 志郎 山崎 文子
米谷 春夫 矢佐 俊幸 吉沢 正則 |
| 欠席委員の氏名 | 小松 務 佐藤潤次郎 宮澤 徳雄 |
- 会社側出席者
- | | |
|-------|-----------|
| 小西 隆昭 | 代表取締役社長 |
| 阿部 正樹 | 代表取締役専務 |
| 佐藤 敏行 | 常務取締役 |
| 川島 敬司 | 常務取締役編成局長 |
| 井上 隆志 | 取締役技術局長 |
| 柴田 継家 | 報道制作局長 |
| 藤澤 光 | 制作部長 |
- 事務局
- | | |
|-------|------------|
| 金谷 保彦 | 番組審議会事務局長 |
| 小笠原 勉 | 番組審議会事務局次長 |
4. 議題 『ほっとゆだ北日本雪合戦大会』

5 . 議事の概要

< 委員の主な発言 >

- ・雪合戦のルールがテロップで流れたが、一度だけでは理解しきれなかった。北日本大会とあったが、どういう範囲なのか説明が欲しかった。
- ・お互いに雪玉を投げ合うので、ジャッジの難しさがあるのではないか。見ている人より、参加している人の方がエキサイティングで楽しいだろうと思った。
- ・湯田町の地域おこしという視点で見ればいいのか、ゲーム感覚でスポーツとして見ればいいのか、不消化のところがあった。
- ・パネルなどを使って絵や図で、コートの大きさや、審判の数などを図示したものがあれば解かりやすかったと思う。
- ・もっと工夫ができたのではないか。興味を持ったのは、きれいなまん丸い雪玉です。作っているところを見たかった。ルールがわかりにくいし、誰に当たったのか玉が速くてわからない。練習しているところや、なぜ参加しようと思ったのかなど、試合を映すだけでなく、いろんな方面から取り上げたらもっと興味をもって見られると感じた。
- ・どんな人が参加しているのか、普段どんな練習をしているのか、雪が無い季節はどうしているのか、どんな思いで取り組んでいるのか。優勝して泣いている人もいたし、ドキュメンタリー的にまとめた番組にして欲しかった。

< 社側 >

- ・一番苦勞をしたのが、ご指摘があったように雪球の行方です。サッカーにしても野球にしてもボール一個で、そのボールを中心にゲームが動いています。雪合戦は、中に入っている両チーム14名の動きを全て見ていなければならない。それが最初からの課題でしたし、今でもディレクターの悩みだと思えます。雪合戦の醍醐味を伝えることには、まだ課題が残っています。その辺を工夫してテレビで楽しめるように考えていきたいと思っています。
- ・ルールや全体の流れに関してです。毎年やっているものですから、ルールも解かっているだろうという思い込みでテロップで流したと思えます。初めて見る方には説明不足の感があったと思えます。